

つま恋シリーズ 第5戦 つま恋カートコース

YAMAHA-SS クラス (参加26台)

フレーム : *birel R31*
 エンジン : *YAMAHA KT100SD*
 タイヤ : *BRIDGESTONE SL07*
 エンジニア : 加藤 真 (チーム エッフェガーラ)
 メカニック : 月岡 雅隆 (チーム エッフェガーラ)

◆今大会にむけての目標、意気込み

11月に開催されるSL全国大会の舞台となるつま恋。初めて走るコースのレースで自分の実力がどれくらいのものか力試しのつもりで挑みました。

今回はトップグループと勝負ができるくらいにはなること。全国大会に向けての課題を発見し、更なる成長に繋げることがねらいです。

◆前日練習走行

初につま恋サーキットでしたが走り始め10周ほどで良い感触を得てそれなりのタイムで走れるようになりました。しかし、そこから煮詰めていくことがなかなか出来ずセット変更も効果薄でタイヤのせいにし始めてしまう。しかし、最後のヒートはセットが決まり一気にタイムアップ！調子に乗った瞬間縁石に引っ掛けスピン、コースアウト。地元勢にも全くライバル視されず明日は厳しい戦いになりそうです。

◆レース結果

・TT 16位 (34.313秒) ・予選(10周) 11位 ・決勝(20周) 9位

◆レースレポート

タイムトライアルは前日最終ヒートの良い感触が全く無く、16位と沈んでしまう。

10周の予選ヒートはそこら中で接触、クラッシュが発生する中冷静にかわしながら順位を上げる。しかし、自ら前車をパスすることは無くファイナルラップの最終コーナーで中途半端ブロックラインをやってしまい2台に抜かれ11位。

20周の決勝では序盤一時7位までポジションを上げるがトップグループからはコンマ1、2秒足りないままズルズルと後退。レースをしたという実感が無いまま9位で終了。

◆レースを終えて

今回のレースの反省点

- ・ 貧乏体制で USED タイヤでのレース。前日練習のタイヤも山が無かったので細かいセットの煮詰め方が出来なかったこと。(NEW タイヤを投資して少しでもトップグループと絡めればもっと発見があったかも?)
- ・ トップグループとレースが出来なかったこと。(順位を上げたのは前車が接触、心中等でいなくなったから。)
- ・ 自分に足りないものの分析がその場で出来なかったこと。(後になってああしとけば良かったかな…とたくさん出てきた。)

良かった点

- ・ スタート直後のポジション取りがきちんと出来てレース中もクラッシュに巻き込まれなかった。
- ・ 山積みの課題を早い段階で確認できたことがせめてもの救いです。(全国大会まであと3ヶ月!!)